



「障がい者ステップアップ推進運動贈呈式記念写真」
(平成28年12月20日(火))

三重労働局雇用支援機構が地域貢献の一環として、障がい者ステップアップ推進運動を行っております。今回でステップアップした障がい者の方が2人目となり、記念品の贈呈を行いました。
(詳細は8頁をご覧ください)

目次・主な内容

■ 新年のご挨拶 (小倉会長)

2

■ 新年メッセージ (榊原日本経団連会長)

3

■ 新年の挨拶 (三重県知事)

4

■ 年頭のご挨拶 (三重労働局長)

5

■ 三重経協News

6

■ 新年賀詞交換

15

■ 三重労働局News

20

■ 委託事業News

21

■ 事務局News

21

■ 業務日誌

22



新年のご挨拶

三重県経営者協会

会長 小倉 敏 秀

あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかに美しく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は当協会の事業活動につきまして、格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

さて、去年は三重県で「伊勢志摩サミット」が開催されました。緊迫した世界情勢からテロの発生も心配されましたが、関係者と県民が協力して取り組んだ結果、無事に終了しました。サミットの成功によって、歴史や伝統文化、美しい自然など三重県の素晴らしさが国内外に広く情報発信され、伊勢神宮や賢島などは観光客で賑わっているようです。ただ、経済効果が全県に行きわたっているかと言えばそうではなく、まだ模様になっているのが実状です。今後サミットのレガシーをどのように活用していくかが課題であり、当協会もサミット効果が早く広がりを見せるよう協力してまいりたいと思います。

最近の経済情勢は、今月発足するアメリカのトランプ新政権への期待から、世界的に株高、ドル高、そして金利高の傾向が続いています。中国など新興国の景気もようやく下げ止まりつつあり、回復基調への転換が期待されているところです。しかしながら、懸念材料としては新大統領の保護貿易や移民排斥の発言などがあり、また欧州ではイギリスのEU離脱に続いて、イタリアで改憲を目指した首相が辞任に追い込まれるなど、国民の経済格差に端を発したポピュリズム（大衆迎合主義）の拡大が心配されます。

我が国でも、昨年7月～9月期の実質GDP（改

定値）は年率換算で1.3%増と3四半期連続で増加し、景気の停滞から抜け出しつつあることが示されました。ただ、その中味は外需主導の回復で、GDPの6割を占める個人消費の伸びは小幅に留まっており、未だ力強さを感じるまでに至っておりません。政治的にも経済的にも先行き不透明な状況が続くものと思われます。

このような状況下、当協会では本年も労働問題への対処のほか、「女性活躍推進」「障がい者雇用」「子ども子育て支援」等の社会的課題の解決のため、様々な活動を展開いたします。「女性活躍推進」では、女性懇話会の活動をさらに活発にし、女性のネットワーク構築を進めます。「障がい者雇用」については、連合三重と協力して「障がい者ステップアップ推進運動」に積極的に取り組んでおり、去年は新たなステージへステップアップされた2名の方に記念品を贈呈しました。今後もこのような活動を通じて、障がい者雇用を支援してまいります。このほかにも様々な取り組みを推進し、次の協会設立80周年へと繋げてまいりますので、引き続きご理解、ご支援を頂きますようお願いいたします。

結びに、本年は酉（とり）年です。酉は「取り込む」につながり、運氣もお客様も取り込むことができる商売繁盛の良い年になると言われております。また、鶏の鳴き声には、天の岩戸神話でも知られるように闇を払い光をもたらす力があるとも考えられています。どうか新年が皆様にとって素晴らしい年となるようご祈念申し上げますとともに、会員の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



－経団連会長新年メッセージ－

「GDP600兆円経済への 確固たる道筋をつける」

2017年1月1日

一般社団法人 日本経済団体連合会

会長 桺 原定 征

世界の政治経済情勢は、保護主義の台頭やナショナリズム志向の広がりが懸念される中、先行き不透明感を増している。このような時にあって、わが国は先頭に立ち、自由で開かれた国際経済秩序を維持・発展させ、世界経済の成長を牽引していかなければならない。同時に、政権基盤が安定している今だからこそ、社会保障制度改革や財政健全化、抜本的な規制改革など、国民の痛みを伴う改革に真正面から取り組むべきである。

経団連としても、政治との連携を一層強化しながら、デフレ脱却と経済再生を確実に実現し、GDP600兆円経済への確固たる道筋をつけるため、主体的に取り組む所存である。

第一に、政府が掲げた「日本再興戦略2016」の「官民戦略プロジェクト10」の実現に取り組む。成長戦略の柱であるSociety5.0の実現に向けて、目指すべき世界を描いた上で、具体策を提案していく。また、消費マインド喚起策の一環として「プレミアムフライデー」を実施し、働き方を見直しつつ消費を楽しむことを促していく。他のプロジェクトについても、早期具体化を図りたい。

第二に、地域経済の活性化に取り組む。各地で経済懇談会を開催し、自治体や地方経済団体による地方版総合戦略の遂行を後押しする。また、「地方創生に向けた経団連アクションプログラム」に基づき、地方経済団体との連携協定の推進、農業・観光の振興など、地域経済の成長力引上げに協力する。

第三に、経済外交を積極的に展開する。米国につ

いては、現地事務所を拠点に新政権や議会との関係を構築し、経済関係の強化を図る。その過程で、TPP協定の発効を目指して、経済的・戦略的意義を訴えていく。欧州については、日EU EPAの早期実現を働きかけると共に、英国のEU離脱に係る企業の懸念事項への理解を求めていく。アジア諸国とも、緊密で互恵的な関係を強化すべく、官民リーダーとの政策対話を進める。

第四に、東京オリンピック・パラリンピック等の開催成功に向けて、国民のムーブメント醸成および全国的なレガシー形成を支援する。

本年も、経団連ビジョン「『豊かで活力ある日本』の再生」の実現に全力を尽くす決意である。皆様のご支援をお願い申しあげる。





新年のご挨拶

三重県知事

鈴木 英 敬

明けましておめでとうございます。

三重県経営者協会会員の皆様におかれましては、県政の推進、とりわけ雇用経済行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

貴協会におかれましては、昨年、創立70周年を迎えられました。「人材こそが企業の発展の根源」であるという理念に基づき、活力ある地域経済社会の実現、企業の相互発展のために、三重県の総合経済団体として企業経営、人事労務の諸問題に取り組まれておりますことに、深く敬意を表します。

昨年は、この三重県の歴史に残る「伊勢志摩サミット」が開催されました。貴協会を始め、関係の皆様には、多大なるご支援、ご協力をいただき、誠に有難うございました。伊勢志摩サミットが、大きな成果とともに、成功裏に終えることができましたのは、皆様のご支援とご協力の賜物と改めて心から感謝申し上げます。いま、三重県は、「伊勢志摩サミット」の開催という千載一遇のチャンスを生かす新たなステージに立っています。今後も、サミット開催地として知名度を生かし国内外の人と事業を呼び込むことによって、交流人口の拡大や県内産業の振興につなげてまいりますので、引き続き皆様のご支援とご協力をよろしくお願いします。

そして、今年4月には、伊勢志摩サミット後の三重県をPRする大きなイベントの一つである第27回全国菓子大博覧会・三重「お伊勢さん菓子博2017」が開催されます。三重県で初めて、東海地域でも40年ぶりに開催される菓子博につきましては、貴協会にも実行委員会のメンバーとしてご参画いただいているところであり、開催に向け、引き続きご協力賜りますようお願いいたします。

貴協会には日頃より障がい者雇用の取組に対し、ご支援、ご協力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。障がい者雇用の推進に向けて設置した「ステップアップカフェ『Cotti菜』」につきましては、オープンから2周年が経ち、これまで5万5千人以上の県民の方々にご利用いただき、障がい者の自立と社会参加を促す取組の一つとして大きな成果を上げています。

また、企業・団体等が成長していくためには「女性の活躍推進」が必要不可欠であり、貴協会においても「女性懇話会」の活動強化に取り組んでいただいているところです。

そのほか、貴協会をはじめ労使団体で設立された「三重労使雇用支援機構」においては、「雇用の安定」と「雇用創出」の実現に向け、企業の人材確保策となる、ワーク・ライフ・バランスの推進や若者の早期離職防止、セーフティネット機能の充実などに積極的に取り組んでおられます。

このように、貴協会は、企業において、働くことを希望する誰もが安心して働くことができる環境づくりに大いに貢献いただいていることはもとより、その取組が、企業における経営戦略としても重要とされる「働き方改革」の推進にもつながっているところです。

本県においても県内企業等における「働き方改革」について積極的に取り組んでいく所存ですので、貴協会におかれましては、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、三重県経営者協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

三重労働局

局長 林 雅彦

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は三重労働局の行政運営に格別のご協力とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、県内の雇用情勢につきましては、昨年開催された伊勢志摩サミットの経済効果も関わり、直近（昨年10月）の有効求人倍率は1.46倍であり、6ヵ月連続して1.4倍台の高水準で推移するなど、企業の人手不足感を背景として、改善の動きが進んでいます。

しかしながら、労働環境を取り巻く状況といたしまして、いじめ・嫌がらせ、解雇など労働相談件数は高水準で推移しているところであります。

労働災害の発生につきましては、長期的減少傾向のなか昨年の休業4日以上死傷者数は過去最少を記録すると見込まれますが、その減少率は鈍化しております。

昨年6月に策定された「ニッポン一億総活躍プラン」、「日本再興戦略2016」、「まち・ひと・しごと創生基本方針2016」などにおいて、一億総活躍社会を念頭に「働き方改革」が最大のチャレンジと位置づけられました。働き方改革の実現のため、社会の発想や制度を大きく転換することが求められています。

このような中、三重労働局では、昨年4月に組織を見直し、新設した「雇用環境・均等室」において、働きやすい雇用環境を実現するための、働き方改革、女性の活躍推進などの施策をワンパッケージで提供するとともに、職場での各種ハラスメントなどに関する相談や、個別の労働紛争の解決援助を一体的に進めています。

また、関係部署が連携して、職場で起こりうるトラブルの発生を未然に防止するために、これから社会に出て働くことになる若者に労働法制の基礎知識の周知などを行っています。

そして、「『全員参加の社会』の実現加速」を行政運営の基本方針の一つとして、全ての人材が能力を高め、その能力を存分に発揮できるよう、女性・若者・障害者等の活躍推進、生涯現役社会の実現に向けた環境整備、外国人材の活用、重層的なセーフティネットの構築などの取組を図っております。

さらに、「公正、適正で納得して働くことのできる環境整備」をもう一つの基本方針として、非正規雇用労働者の待遇改善と希望の持てる生活の実現、働き方改革の実現、人材力強化・人材確保対策の推進、労働者が安全で健康に働くことのできる職場づくり及び地方創生に向けた取組などを推進しておりますので、より一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

職員一同、直面する各種課題にしっかり対処してまいり所存でありますので、本年も引き続き、皆様方のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、貴協会のご発展並びに会員の皆様方のご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

三重経協活動報告

三重県経営者協会女性懇話会・津商工会議所女性会合同視察会

10月12日（水）に三重県経営者協会女性懇話会と津商工会議所女性会との合同視察会を開催致しました。当日の参加者は32名でありました。

今回は、通常の内容とは異なり、普段何気なく使用している電力について学んで頂くことを主旨とし、その中でも、歴史的背景も踏まえながら、親睦を深める内容でありました。また、視察に際して、21世紀のエネルギーを考える会・みえ様のご協力を頂き開催致しました。

①関西電力(株)読書発電所は、大正12年に電力王として知られる、福沢桃介（福沢諭吉の娘婿）により長野県に造られました。当時、産業革命により関西地域の電力が不足し、発電施設を造れる条件の土地がなく、長野県は豊富な河川があり、水量が豊富で水の流れが速いので最適な条件でありました。木曽川を水源とする水力発電所であり、レンガ壁で半円形の窓などが特徴の発電所本館建物や水槽、水圧鉄管などが国の重要文化財（近代化遺産）に指定されているとのことでした。



読書発電所での説明風景

また、読書発電所を含めて木曽川で7つの発電所を手掛けた福沢桃介を支え、日本最初の女優

「川上貞奴」との物語も興味深い説明でした。日常、当たり前のように使用している電力がどのように造られているか考える良い機会となりました。更に、ご説明頂きました関西電力の本間様のユーモアあふれる説明で、参加者一同楽しく分かりやすかったと好評でありました。

②妻籠宿は、中山道と飯田街道の分岐点に位置し、古くから交通の要所として栄えており、昭和43年に町並み保存が始められ、昭和51年に国の重要伝統建造物保存地区に選定されました。

全長約500mの町並みは、江戸時代にタイムスリップした感じで、どれも当時の面影を残し、懐かしさと郷愁を感じる情緒あふれる宿場町でありました。



読書発電所集合写真

平成28年度みえ・花しょうぶサミット

11月22日（火）三重県総合文化センターレセプションルームにおいて、「平成28年度みえ・花しょうぶサミット」を開催し、約100名の参加者でありました。このサミットは三重県の各商工団体の女性会等が豊かな人生を過ごすため、既存の団体や業種、キャリアの枠を超えて交流し女性経営者のネットワークを構築することを目的に開催致しております。



ディスカッション風景

(1) 開会挨拶：みえ・花しょうぶサミット

座長 谷口 ちほせ 氏

（三重県商工会女性部連合会 会長）

三重県知事 鈴木 英敬 氏



挨拶する谷口座長

(2) 講演会

テーマ：「感謝の心」

講師：浄土宗 良正庵

庵主 小林 良正 氏



講演する小林講師

(3) テーブルディスカッション

「一日一善について」

(4) 講師講評、質疑応答



挨拶する鈴木知事

女性懇話会役員会開催

12月20日（火）に女性懇話会役員会をプラザ洞津にて開催致しました。伊藤代表（伊藤印刷株）の挨拶に続いて会議が行われました。

今年の活動報告の後、来年の活動内容・スケジュール案が事務局より説明があり、スケジュール案が承認されました。当日は7名の参加者でありました。



女性懇話会役員会風景

障がい者雇用事業所視察会

12月8日（木）に三重労使雇用支援機構主催の「障がい者雇用事業所視察会」を37名の参加者で開催致しました。この視察会は三重労使雇用支援機構が進めております「障がい者ステップアップ推進運動」として開催し、労使で障がい者雇用の理解と推進を深める為の視察であります。最初に、SWSスマイル(株)を視察し、責任者より概要の説明をして頂き、その後、実際に作業風景等を視察させて頂きました。



SWSスマイル(株)視察風景



わか菜の杜視察風景

SWSスマイル(株)様は住友電装(株)特例子会社として2013年に設立され、特別支援学校からも受入れており、知的障がい者・精神障がい者が多数働いていました。また、工場内の見学では、障がい者の方々から説明を受けました。

次に稲葉特別支援学校に移動し、校内の実習風景を視察し、学校概要と特別支援学校とは何か、また、進路の状況等の説明をして頂きました。昼食はステップアップカフェ「Cotti菜」で実際に障がい者が働いている姿を見学しながら食事をし、最後に、社会福祉法人朋友が運営している「わか菜の杜」を視察し、水耕栽培で薬物野菜を無農薬で栽培しているハウスを見学し、実際に収穫も致しました。また、作業場では障がい者が収穫した野菜の袋詰め作業等を見学し、農業というよりは製造工場の工程管理で作業が進められていました。



稲葉特別支援学校視察風景

ステップアップ大学開校式・障がい者ステップアップ推進運動贈呈式

12月20日（火）三重県総合文化センター フレンテみえ 3階セミナー室Cにて「ステップアップ大学開校式」が三重県の主催で開催されました。開校式の中で三重労使雇用支援機構が2人目の卒業生となる「障がい者ステップアップ推進運動贈呈式」を行いました。

今回贈呈させて頂いたのは、Cotti菜で勤務されている荒木章汰さんであります。県立度会特別支援学校から職場実習を経て平成27年4月にCotti菜に採用されました。現在は接客・商品販売・料理の仕込みなど幅広く業務を担当されており、10月に開催されたハローワークの障害者面接会で、(株)第三銀行様に4月から採用内定となり、これをお祝いする為の贈呈式でした。三重労使雇用支援機構 小倉代表より目録の贈呈並びに連合三重金森副会長より「mie」のトートバックの贈呈と記念撮影を行いました。（表紙写真）



ステップアップ大学開校式風景



目録贈呈

三重県「産・福・学」障がい者雇用情報交流会

昨年からはじめた三重県「産・福・学」障がい者雇用情報交流会を下記の内容で開催（２ヶ所）致しました。今年は２年目となり、地域を分けて開催するように致しました。また、今回からは障害者就業・生活支援センターにも参加頂き、より実態に近い交流会となりました。

また、グループディスカッションの時間も多く設け、様々な立場の方々が企業における障がい者雇用に関しての課題解決に真剣に議論する場となりました。

■開催内容

No.	日時及び開催場所	プログラム
1	四日市会場 12月13日（火） 13：00～17：00 三重県四日市庁舎 大会議室 参加人数：63名	主催者挨拶 三重県雇用経済部障がい者雇用推進監 渡邊 和洋 氏 (1) 取組紹介・事例発表 ①四日市障害者就業・生活支援センターブラウ 所長 樋口 雅也 氏 「障害者就業・生活支援センターの取組について」 ②NPO法人みらい自然ファーム 障害者ITカレッジ四日市 理事長 山下 広幸 氏 「就労移行支援事業所の取組について」 ③三重県教育委員会事務局特別支援教育課 充指導主事 辻岡 健二 氏 「特別支援学校の取組について」 ④(株)東産業 総務部 部長代行 網谷 淑子 氏 「支援機関と連携した雇用事例について」 (2) グループディスカッション・フリートーク（名刺交換会）
2	松阪会場 12月15日（木） 13：30～17：00 三重県松阪庁舎 大会議室 参加人数：57名	主催者挨拶 三重県雇用経済部障がい者雇用推進監 渡邊 和洋 氏 (1) 取組紹介・事例発表 ①松阪・多気地域障がい者総合相談センターマーベル 主任就業・生活相談支援員 田森 昌代 氏 「障害者就業・生活支援センターの取組について」 ②(株)JSM ジョブステーションマツサカ 代表取締役 三村 作典 氏 「就労移行支援事業所の取組について」 ③三重県教育委員会事務局特別支援教育課 充指導主事 辻岡 健二 氏 「特別支援学校の取組について」 ④(株)トモ 営業本部 山路 千代子 氏（障がい者職業生活相談員） 「支援機関と連携した雇用事例について」 (2) グループディスカッション・フリートーク（名刺交換会）



四日市会場風景



松阪会場風景

労務管理改善協力委員会 (10月第2部会活動報告)



討議風景

10月25日（火）プラザ洞津「孔雀の間」において、労務管理改善協力委員会10月第2部会を開催致しました。第21期労管第2部会初めての部会で、53名の参加者でありました。

水野第2部会長（三重グリコ株）の挨拶に続いて講演が行われました。今回は、雇用保険の改正と、50人以上の事業所にストレスチェックが義務化となり、11月末で期日となることや、近年、メンタルヘルス対策も重要な課題となっており、多数の参加者となりました。また、講演後、事例に基づいてグループ内討議を行いました。

■プログラム

講演：「雇用保険法改正とストレスチェック、メンタルヘルス対策について」

- ・改正雇用保険法
- ・ストレスチェックの現状
- ・ストレスチェック結果と職場環境の見直し
- ・社員に対するリスクマネジメント
（メンタルヘルス不調者、若年性アルツハイマー、がん等）
- ・メンタルヘルスマネジメント
- ・利用される相談窓口の設置

講師：グッドライフ設計塾 代表 菅田 芳恵 氏
（特定社会保険労務士・産業カウンセラー）



講演する菅田講師



挨拶する
水野第2部会長

労務管理改善協力委員会 (11月共通部会活動報告)

11月8日（火）津都ホテル「伊勢の間」において、労務管理改善協力委員会11月共通部会を開催致しました。当日は103名の参加者でありました。

毛利労管会長（中部電力株三重支店）の挨拶に続いて、講演が行われました。

今回は、三重県で初めて労働基準監督署対策の勉強会を開催したところ、初めて岐阜県経営者協会の会員企業様からもご参加がありました。

最近、労働基準監督署の立ち入り調査において、是正報告書が切られるケースが増加しており、当協会においても、これらに関する相談が増えていることから開催致しました。

■プログラム

講演：「労働基準監督署立ち入り調査への対応について」

- ・そもそも労働基準監督署の調査とは
- ・定期監督と申告監督の実態について
- ・過重労働への指導監督の強化と最近の傾向
- ・未払い残業問題の増加と現実的な企業防衛策
- ・是正勧告書、指導票への実際の対応法
- ・県内における事例から

講師：社会保険労務士法人ナデック 代表社員 小岩 広宣 氏（特定社会保険労務士）



11月共通部会風景



挨拶する毛利労管会長



講演する小岩講師

労務管理改善協力委員会 (11月第1部会活動報告)



労管第1部会風景

■プログラム

講演：「2018年卒新卒採用の動向と対策について」

第1部：2017年卒採用環境の総括と2018年卒採用環境予測について

・就活学生の立場から考える採用キーワード（ワーク）

講師：(株)リクルートキャリア

メディア営業本部マーケット営業統括部 和田 美鶴 氏

第2部：採用計画の基本、求める人物像設定の大切さについて

・各社様で活躍していただける“人財”とは

・各社様におけるターゲット設定の確認と振り返り

（見直しワーク）

講師：(株)アドプランナー コンサルティング事業部

採用コンサルタント／キャリアカウンセラー

平野 真理子 氏 (JCDA認定CDA)



挨拶する早川第1部会長



講演する和田講師



講演する平野講師

第114回経団連労働法フォーラム中部大会

10月13日（木）、14日（金）ウエスティンナゴヤキャッスルにおいて、第114回経団連労働法フォーラム中部大会が開催されました。名古屋での開催は20年ぶりとなり、中部経営者協会（愛知県経営者協会、岐阜県経営者協会、三重県経営者協会）主催の開催となりました。当日は企業・経営法曹会所属の弁護士が全国から約400名を超える参加となりました。

今回は「中途採用をめぐる法律上の留意点と実務対応」「問題社員に対する労務管理のポイント」の3テーマとし、講師は、経営法曹会議のメンバーの弁護士による裁判例などを基に解説が行われ、実務上の適切な対応策が提案されました。また、参加者からの質問も予想以上に多く寄せられ、活発な議論が繰り広げられました。



労働法フォーラム風景

中部経協三県連携事業

階層別研修第2回「部下育成講座」

～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理者の育成～

11月10日（木）プラザ洞津「末広の間」において、階層別研修第2回「部下育成講座」を34名で開催致しました。

講師は(株)ヒューマンブレイン 代表取締役の稲垣正己氏をお迎えし、午前中は前回の振り返りを行い、その後「あなたは、人の話を聴いていますか？」として傾聴テストを行いました。管理者として部下・後輩の話を本当に聴いているか確認し、続いて「部下を上手に叱っているか」を研修致しました。後半は自分のコミュニケーションスタイル（自己主張が強いのか弱いのか）を、実際に質問に答えながら4つのタイプに分けて説明が行



講義風景

われました。また、部下の状況把握をし、実際に部下育成計画を立てながらグループで討議を行いました。

今回は、変化適応力を強化するために、先入観や思い込み、偏見、プライミング等、良くないパラダイムを払拭し、自分自身のマネジメントスタイルを磨き上げる事を学んで頂いた講座でありました。



講義する稲垣講師

■主なプログラム

- ・部下育成強化に向け、部下への納得度・なるほど感を与える指導の考え方を学習する
- ・管理者としての部下対応の為のコーチングを体感する（聴く、話す、観る）
- ・日々の関わり強化を図る（コミュニケーション、コーチングの前提は協調的アプローチ）

新入社員フォロー研修第2回「チームワークを大事にする新人育成」

11月15日（火）プラザ洞津「明日香の間」において、新入社員フォロー研修第2回「チームワークを大事にする新人育成」を参加者24名で開催致しました。

講師は(株)ソ・ラボ 代表取締役の山田将史氏をお迎えし、前半は、入社して約7ヶ月が経過し、前回の振り返りを行い、自分自身で学んだこと・気づいたことを確認しました。その後、2人ずつ向かい合い傾聴トレーニングを行い、発信力について講義が行われました。後半は、グループに分かれて予算獲得ゲームを行いました。このゲームは各グループが不動産会社となり、社長等役割を決めて、他のグループと交渉・駆け引きなど知恵を戦わせていく体験ゲームです。ゲームの大きな目的は、①目的を共有する②相手の「心情」を具体的に伝える③相手の話を聴き、理解しようとする姿勢④部分最適でなく、全体最適で考える、この4つとなっております。皆さん入社から約7ヶ月が経過し、初回の表情とは違い、社会人らしさが出ておりました。また、前回とグループ分けを変えて行っているため、新しいメンバーでお互い真剣に自分の意見を発信していました。



傾聴トレーニング風景

■研修の目的

- ①発信力 ②傾聴力 ③柔軟性 ④状況把握力 ⑤規律性 ⑥ストレスコントロール

・礼儀礼節を守る ・時間厳守 ・反応する（聴く、姿勢） ・全員で助け合う

今日を素晴らしい1日にするために

- ・積極的に「今・ここ・自分」→たくさん発言し、たくさんチャレンジし、そして失敗すること!
- ・メモをする ・シェア（共有）する



講義する山田講師

年末調整実務・マイナンバー制度（税務関係）対応セミナー

11月2日（水）プラザ洞津「桐の間」において、「年末調整実務・マイナンバー制度（税務関係）対応セミナー」を開催致しました。当日は20名の参加があり、講師の今井 富久翁税理士から前半・後半に分けて講義が行われました。

今年度は、年末調整実務セミナーに今年1月から始まったマイナンバー制度（税務関係）を含めた内容で行いまし

た。前半は通常通り年末調整の実務セミナーを行い、初めて担当される方も参加されていた為、年末調整とは何かを説明され、その後、手順と例に基づいて計算が行われました。

続いて、「年末調整Q & A」を想定される質問を書かれたテキストをもとに解説し、後半は、マイナンバー制度（税務関係）について概要の説明と、運用の説明、問題となる安全管理措置等の説明が行われました。最後に個別での質問時間を設け、特にマイナンバーについて質問が多数出ていました。



講演する今井講師



年末調整実務セミナー風景

働きやすい職場づくりセミナー



働きやすい職場づくりセミナー風景

11月24日（木）サンワーク津にて、(株)O-GOE様と三重労使雇用支援機構運営の働きやすい職場づくりセミナーを38名の参加者で開催致しました。

今回、(株)O-GOE様は三重県より受託事業として、「女性の再就職支援サポート事業」、三重労使雇用支援機構は「働き方改革（企業のワーク・ライフ・バランス）周知啓発事業」の一環として合同開催致しました。



講演する杉山講師



講演する菅田講師

（内容）

第1部：「子育て中の社員との上手な付き合い方」
～イクボスが女性社員の育成を支援します～

講師：(株)O-GOE 代表取締役 杉山 豊 氏

第2部：「失敗事例から学ぶワーク・ライフ・バランス」

講師：グッドライフ設計塾 代表 菅田 芳恵 氏
（特定社会保険労務士・産業カウンセラー）

第3部：「グループワーク」

（第1部、第2部の講演を踏まえて討論）

ファシリテーター：(株)O-GOE

代表取締役 杉山 豊 氏



グループワーク風景

第18回三重県経営者協会会員親睦コンペ

11月28日（月）三重カンツリークラブにおいて、第18回三重県経営者協会会員親睦コンペが開催されました。23名（IN 3組・OUT 3組）が参加され、熱戦の結果、優勝者は昨年も優勝された川北 一之 氏（株MIセンター代表取締役）に決まり、小倉会長より優勝トロフィー並びに優勝賞品が授与されました。尚、川北氏は3年連続で優勝となりました。

今回は、初参加の方も見え、皆さんプレーをしながら懇親を深められました。



経協コンペ参加者集合写真

【順位表】（敬称略）

順位	氏名	会社名・職名	GROSS	H'CP	NET
優勝	川北 一之	(株MIセンター 代表取締役)	84	12.0	72.0
準優勝	玉村 和敏	(株赤福 執行役員営業)	97	24.0	73.0
第3位	杉野 博俊	(株ガスリビング三重 取締役社長)	87	13.2	73.8
第4位	大川 智弘	(株三交イン 代表取締役社長)	88	13.2	74.8
第5位	井田 光昭	(株三交ドライビングスクール 代表取締役社長)	97	21.6	75.4

※同スコアの場合、年長者を上位とする。



優勝商品を小倉会長(右)より授与される川北氏(左)

インターンシップ事後研修会



グループディスカッション風景

12月3日（土）プラザ洞津「孔雀の間」にてインターンシップ事後研修会が開催されました。当日は今年インターンシップを体験した学生を中心に、約70名の参加でありました。今年度より内容を変更して開催し、前回まで企業側の講演と講師による講演・グループディスカッションを行っていましたが、今回より、企業側の講演を無くし、講師による講演とグループディスカッションと致しました。「インターンシップ経験を就職に活かす～自分の強みを伸ばし、納得内定へ～」と題して、(有)トーカイマネジメントアソシエーツ インストラクター 吉井 優貴 氏から、大学で就職支援に携わってきたプロの立場から様々なアドバイスを頂きました。2018年卒の採用活動に変更はないものの昨年以上に売り手市場となる等お話し頂きました。

また、3月から始まる企業説明会に向けて学生に企業の理解をより深めて頂く内容であり、その中で、採用時に多く用いられるグループディスカッションでは、ディスカッショントレーニングを追加し、実践に近い内容と致しました。「企業にとって必要な人材とは」のテーマでは、特に「主体性」「実行力」「発信力」の3つが重要視され、インターンシップ経験をフィードバックすることが大切であるとのことでした。

グループディスカッションでは、白熱した討論の後、討議結果をまとめた内容をグループの代表が発表しました。全グループからどのグループが良かったかを当日参加されていた各大学のキャリアセンターの職員の方々の得票により決定され、吉井氏から優勝グループ（Aグループ）に優勝商品が渡された後、総評が述べられました。学生たちの熱気の中、インターンシップ事後研修会が閉会しました。



講演する吉井講師



吉井講師より優勝商品を渡されるAグループ



発表風景



あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い致します。

(50音順)

三重県経営者協会

会 長	小 倉 敏 秀
副 会 長	小 川 謙 子
副 会 長	小 川 村 則 子
副 会 長	伊 藤 惠 子
副 会 長	水 野 正 信
副 会 長	原 千 秋
副 会 長	駒 田 美 弘
副 会 長	田 山 雅 敏
専 務 理 事	西 場 康 弘

 **株式会社 R&E コンサルタント**
経 営 コ ン サ ル タ ン ト
(経営・労務・人材育成・地域活性化・成長戦略)
代表取締役 小 林 吉 光

フィッシング遊 
アサヒレジャー株式会社
代表取締役社長 上 野 精 一

イメージ クリエイト
想像を創造する
各種印刷からホームページなどのデジタル関連商品まで幅広いメディアに対応して、
皆様の情報発信のお手伝いをいたします。
 **株式会社 アイブレーン**
TEL 0596-27-1111 (代) 代表取締役 楠木 裕子

アミカン株式会社
東洋工業株式会社
代表取締役 伊 藤 勘 作

株式会社 福
代表取締役社長 濱田 勝子

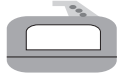
M-EMS認証取得工場
印刷のプロフェッショナル
 **株式会社 伊勢出版**
代表取締役 玉 井 信 吾

〒514-0031 津市北丸之内20
株式会社 朝 日 屋
代表取締役 香 田 佳 永

 **伊勢新聞社**
代表取締役社長 小 林 千 三

旭鍍金株式会社
代表取締役社長 中 山 敏
TEL 059-234-9555

伊勢赤十字病院
病院長 楠 田 司

ISO27001 情報管理国際認証取得  総合印刷・出版 伊藤印刷株式会社 代表取締役 伊藤 誠司	 MIYAKO HOTELS 四日市都ホテル 株式会社 近鉄・都ホテルズ 総支配人 長尾 修二
今村会計事務所 所長・税理士 今村 元宣	 農業屋 クラギ株式会社 代表取締役 竹内 秀樹
人を取り巻く全ての予防衛生を支援します 株式会社 イムテス 代表取締役会長 小林 眞一郎 代表取締役社長 山口 久美	 学校法人 皇學館 皇學館大学 皇學館高等学校・皇學館中学校 理事長 佐古 一洸
おいしい!の笑顔をつくる  井村屋グループ株式会社 代表取締役会長(CEO) 浅田 剛夫 代表取締役社長(COO) 大西 安樹	御在所  GOZAISHO ROPEWAY ロープウェイ 取締役社長 辻 智幸
創業32年 ～ありがとうございます～ ～まごころこめて～製造・物流サポートします  オーユーセス株式会社 代表取締役 木下 隆生	人と環境を大切にする 技術開発型企业 —当社は専用工作機械及び金型部品メーカーです— 株式会社 小林機械製作所
冷凍／空調／電気 工事・メンテナンスなら 「地域密着!顧客満足度120%」の 有限会社 奥田冷機 取締役会長 奥田 幸広	三交興業株式会社 名阪関ドライブイン 名阪上野ドライブイン 取締役社長 辻 孝巳
株式会社 おやつカンパニー 代表取締役社長 松田 好旦	安全で快適な暮らしをサポート  三交コミュニティ 取締役社長 後藤 誠二 TEL: 059-253-4051
 ふれあい・たいせつに きゅーどら 代表取締役 清水 秀隆	安全・安心・快適 株式会社 三交タクシー 取締役社長 中島 嘉浩

 株式会社三交ドライビングスクール 四日市自動車学校 名四自動車学校 取締役社長 井田 光昭	南部自動車学校グループ 共感警備の (株)セフティージャパン 代表取締役社長 加藤 有翔
三交不動産株式会社 取締役社長 高林 学	助成金・就業規則承ります  社会保険労務士法人 総合経営労務センター 田中克己特定社会保険労務士事務所 TEL : 059-222-1198 FAX : 059-222-2918
 JINZAI IKUSEI CENTER 人材育成センター 特定非営利活動法人 理事長 日紫 喜良守	 中外医薬 中外医薬生産株式会社 代表取締役社長 田山 雅敏
2017年 創業100周年  SINFONIA シンフォニアテクノロジー株式会社 (旧) 神鋼電機 執行役員 伊勢製作所長 御村 恭至	おかげさまで70年これからも地域と共に  感動 空間 創造 企業 株式会社 辻工務店  代表取締役 辻 正敏
 SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE 鈴鹿医療科学大学 理事長 高木 純一 学長 豊田 長康	お役に立つ、そして寄り添い共に行動する  津商工会議所 会頭 岡本 直之
学校法人 享栄学園 鈴鹿大学 鈴鹿大学 短期大学部 学長 市野 聖治	魅力好感百貨店 株式会社 津松菱 代表取締役社長 西村 房和
 住友電装株式会社 代表取締役執行役員社長 井上 治	テンプスタッフ株式会社 津オフィス 代表取締役社長 和田 孝雄
株式会社 ZTV 取締役社長 田村 憲司	TOSHIBA Leading Innovation >>> 株式会社 東芝 ストレージ&デバイスソリューション社 四日市工場 工場長 松下 智治

東邦ガス株式会社三重支社 支社長 大 津 光 浩	日東カストディアル・サービス株式会社 三重支店 支店長 増 井 隆 志
快適以上を、世の中へ。 TOENEC 中部電力グループ 株式会社 トーエネック 三重支店 執行役員支店長 山 内 康 広	日本トランスシティ株式会社 代表取締役会長 小 林 長 久
有限会社 トーカイマネジメント アソシエイツ 代表取締役 吉 井 清 二	野村證券株式会社 津 支 店 支店長 下 田 学 野村のコンサルティング
 湯めぐり海百景 鳥羽シーサイドホテル 代表取締役社長 伊 比 昌 弘	 百五銀行 取締役頭取 伊 藤 歳 恭 FRONTIER BANKING
子どもたちが安心、安全に暮らせる 地域社会の実現に向けて・・・  特定非営利活動法人 どんぐりの会 理事長 木 崎 芙 美	公立学校共済組合津宿泊所 プラザ洞津 支配人 鎌 田 敏 明 TEL 059-227-3291
ナガシマリゾート 長島観光開発株式会社 取締役社長 水 野 正 信	 株式会社 松阪カントリークラブ 取締役社長 伊 藤 栄 治 TEL:0598-29-2911
中辻医科器械株式会社 代表取締役 三 宅 努	MCC CORPORATION 株式会社 松阪鉄工所 代表取締役社長 加 藤 賢 治
 21世紀のエネルギーを考える会・みえ 会 長 小 林 長 久 津市栄町3丁目248番地 きりんセカンドビル302号 TEL 059-229-3790	三重いすゞ自動車株式会社 代表取締役社長 川 村 則 之

〈昭35.10.開場〉  株式会社 三重カンツリークラブ 取締役社長 飯 田 爾	三重テレビ放送株式会社 代表取締役社長 長 江 正 TEL:059-226-1133
「三重から世界へ」!! 信頼される製品づくりに努めています。 三重金属工業株式会社 代表取締役社長 西 本 正	又次なる三重と未来の子供にちん  三重トヨペット株式会社 取締役社長 川 喜 田 久 TEL059 (227) 7171 (代表)
「快適なタクシー」  三重近鉄タクシー株式会社 代表取締役社長 大西 史人	Think Next Security  MIWA 美和ロック株式会社 http://www.miwa-lock.co.jp/
三重県観光開発株式会社 取締役社長 宮 脇 栄 治	地域の安全と快適を約束する 警備事業・バス事業 (名阪交通バス) 株式会社 メイハン 代表取締役 田 畑 博
三重交通株式会社 取締役社長 雲 井 敬	安田小児科内科 理事長 安 田 尚 樹 TEL:0598-28-8828
 三重交通商事株式会社 取締役社長 梅 山 治 久	 株式会社 安永 代表取締役社長 安 永 暁 俊
がんばる企業を応援します!  三重県信用保証協会 ホームページアドレス http://www.cgc-mie.or.jp/	消防防災で安全安心を創る 株式会社 山 口 商 会 代表取締役社長 山 口 久 彦
地域にイノベーションを  国立大学法人 三 重 大 学 学 長 駒 田 美 弘	三重県経営者協会 職 員 一 同

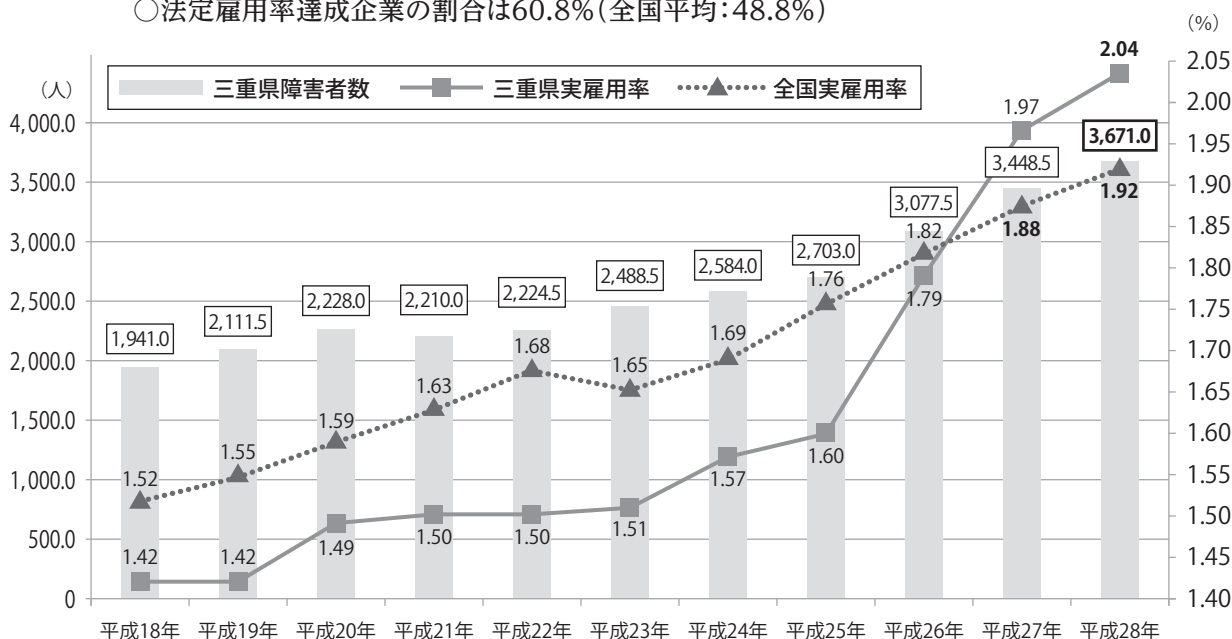
三重県内企業の平成28年「障害者及び高年齢者」の雇用状況

障害者

障害者雇用促進法では、事業主に対し、常時雇用する従業員の一定割合（法定雇用率、民間企業の場合は2.0%）以上の障害者を雇うことを義務付けており、今回の集計結果は、同法に基づき、毎年6月1日現在の身体障害者、知的障害者、精神障害者の雇用状況について、障害者の雇用義務のある事業主1,044社の状況をまとめたものです。

○三重県内の民間企業における障害者実雇用率は2.04%（全国平均：1.92%）

○法定雇用率達成企業の割合は60.8%（全国平均：48.8%）



高年齢者

「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」では65歳までの安定した雇用を確保するため、企業に「定年の廃止」や「定年の引上げ」、「継続雇用制度の導入」のいずれかの措置（高年齢者雇用確保措置）を講じるよう義務付け、毎年6月1日現在の高年齢者の雇用状況の報告を求めています。

今回の集計結果は、この雇用状況を報告した従業員31人以上の企業1,925社の状況をまとめたものです。なお、この集計では、従業員31人～300人規模を「中小企業」、301人以上規模を「大企業」としています。

【集計結果の主なポイント】

1 高年齢者雇用確保措置の実施状況

高年齢者雇用確保措置を「実施済み」の企業の割合は100.0%（全国平均：99.5%）

2 定年制の廃止および65歳以上定年企業

定年制の廃止および65歳以上定年企業は401社、20.8%（全国平均：18.7%）

中小企業：391社、21.9% 大企業：10社、7.1%

3 70歳以上まで働ける企業

70歳以上まで働ける企業は474社、24.6%（全国平均21.2%）

中小企業：460社、25.8% 大企業：14社、10.0%

4 希望者全員66歳以上の継続雇用制度を導入している企業

希望者全員66歳以上まで働ける継続雇用制度を導入している企業は97社、5.0%（全国平均：4.9%）

中小企業：93社、5.2% 大企業：4社、2.9%

詳しくは、三重労働局のホームページ(<http://mie-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp>)をご覧ください。

三重労働局委託事業

「専門家派遣・相談等支援事業」 をご利用ください！

対応内容

給与制度・給与体系を見直したいのですが…

販路拡大の方法について知りたいのですが…

業務改善助成金の適用申請をしたいのですが…

もう少し生産効率を上げたいのですが…

就業規則をしっかりとしたものにしたいのですが…

その他
経営・労務に関すること…

無料

相談窓口はこちら

三重県最低賃金総合相談支援センター

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F 三重県経営者協会内

☎0120-331-266 TEL・FAX 059-226-0033

<http://miekeikyo.jp/> E-mail s-chingin@sage.ocn.ne.jp

詳しくは、三重県経営者協会のホームページをご確認下さい。

れんらく・つうしん

2017年 春季労使交渉セミナー

- | | | |
|---|---|--|
| 日 | 時 | 平成29年2月27日(月) 14:00～16:30 |
| 場 | 所 | プラザ洞津 3階 紅葉の間 津市新町1-6-28
(津新町駅下車西へ徒歩3分)
Tel 059-227-3291 |
| 定 | 員 | 50名 (定員になり次第、締め切ります) |
| 受 | 講 | 料 |
| 非 | 会 | 10,000円 |
| 講 | 師 | 1. 『2017 労使交渉に臨む連合（三重）の基本姿勢』
日本労働組合総連合会三重県連合会会長 吉川 秀治 氏
2. 『2017 年労使交渉対応の考え方と具体策』
(一社) 日本経済団体連合会労働政策本部 副本部長 遠藤 和夫 氏 |

※詳細につきましては、当協会のホームページをご参照下さい。

ご存知ですか…こんな機関？

出向・移籍支援事業

「失業なき労働移動」をめざして

人材送出企業

- 人員に余剰感がある
- 雇用調整を検討している

- 一時的に仕事量が減り社員の出向先を探しておられる企業
- 支店閉鎖、工場閉鎖などで社員の移籍先を探しておられる企業
- 工場移転を計画されており人材の過不足が発生する企業
- 不採算部門があり人材の移動を考えておられる企業
- 事業規模の縮小を計画されている企業

産業雇用安定センター 三重事務所

送出情報の
収集・登録

受入情報の
提供

受入情報の
収集・登録

送出情報の
提供

企業どうしの話し合い・面接

出向・移籍の成立

無料

人材受入企業

- 事業の拡大、欠員発生などにより、必要な要員を確保したい企業
- 新規部門に精通した人材を採用したい
- 経験豊富な即戦力の人材を確保したい企業

- 人員が不足している
- 人材の補充を検討している

当センターをご利用いただく場合は
前もってご連絡ください。

公益財団法人
産業雇用安定センター 三重事務所
TEL 059-225-5449

業務日誌 (2016.10.5~12)

事業名	とき	ところ	事業名	とき	ところ
三重県経営者協会女性懇話会・津商工会議所女性会合同視察会	10/12(水)	関西電力(株)読書発電所・妻籠宿(長野県)	働きやすい職場づくりセミナー	11/24(木)	サンワーク津
第114回経団連労働法フォーラム中部大会	10/13(木)~14(金)	ウエスティンナゴヤキャッスル	第18回三重県経営者協会会員親睦コンペ	11/28(月)	三重カンツリークラブ
日本経団連「地方団体連絡協議会」	10/14(金)	日本経団連会館	労務管理改善協力委員会 第1部会	11/29(火)	ブラザ洞津
労務管理改善協力委員会 第2部会	10/25(火)	ブラザ洞津	インターンシップ事後研修会	12/3(土)	ブラザ洞津
年末調整実務・マイナンバー制度(税務関係)対応セミナー	11/2(水)	ブラザ洞津	障がい者雇用事業所視察会	12/8(木)	SWSスマイル・稲葉特別支援学校・ステップアップカフェCotté・わか家の社
労務管理改善協力委員会 共通部会	11/8(火)	津都ホテル	女性懇話会役員会	12/20(火)	ブラザ洞津
中部経協三県連携事業 随員別研修 第2回「部下育成講座」～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理者の育成～	11/10(木)	ブラザ洞津	ステップアップ大学開校式・障がい者ステップアップ推進運動贈呈式	12/20(火)	三重県総合文化センターフレンテみえ
中部経協三県連携事業 新入社員フォロー研修第2回「チームワークを大事にする新人育成」	11/15(火)	ブラザ洞津	三重県「産・福・学」障がい者雇用情報交流会	12/13(火)12/15(木)	四日市庁舎 松阪庁舎
平成28年度みえ・花しょうぶサミット	11/22(火)	三重県総合文化センターレセプションルーム			



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557 FAX 059-228-3710

ホームページ <http://miekeikyo.jp>

E-mail info@miekeikyo.jp

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1森永三重ビル3F

平成29年1月25日 発行
発行人／三重県経営者協会